

## 広報 第百肆号

## さくら前線

医師 あいさつ

外科医師 館野 航平

月曜日の夕方から火曜日の夕方までお世話になります。慣れない面が多く、至らない点もあるかと思いますが、宜しくお願い致します。

新入職員 あいさつ



看護師 小池 富士江

初めまして、小池富士江と申します。16年ぶりの看護師復帰ですが、60歳を前にして最後の仕事として看護師を頑張りたいと思いました。

スタッフの皆さんの負担にならないよう一生懸命頑張りたいと思いますので、よろしく願います。

営繕課 金井嘉一

この度、7月付けで新入職員として働くことになりました金井です。

4月末に前会社を退職しまして、しばらくの間のんびりと暮らそうと思っておりましたが、数ヶ月が過ぎ、今度は退屈

## 薬局だより

## 『学術面のスタッフ教育の体制について』

主任管理薬剤師 門脇 寛篤

で堪りませんでしたので、もう一度働いてみようと思えました。幸いにも65歳を過ぎています。身体も健康でありハローワークの紹介もあり、今回当院営繕課にお世話になることができました。病院勤務は初めてであり、戸惑うこともございますが、一日も早く仕事が覚えられるように、日々努力していきたいと思えます。どうぞよろしく願います。

皆様、暑い夏をどう過ごされましたか。私は、日本褥瘡学会という、学術を学ぶ場へ参加して参りました。そこで、今回は、皆様の安全をお守りするためにも必要な「知識」をどう当院では養っているのかを解説したいと思えます。

当院では、13以上の各種委員会で構成されています。医療の安全を担保するためにも、それぞれの委員会の役割は大きく、各々の委員会ごとに専門性が異なっているため、それらごとに、年2回以上の研修会を開催し、それをスタッフが参加し、学びを得ているのです。

研修会の講師ですが、多種多様です。例えば、院内で知識のあるスタッフがいたら、

院内の状況に沿った内容での解説をして頂いています。先日では、当院看護師による褥瘡の研修会が行われました。

当院ではこうしているので、このようにお願い致しますといった、当院内目線での解説をして頂き、拝聴者もわかりやすかったのではないのでしょうか。

また、外部講師としては、8月には感染対策委員会・輸血委員会合同で「日赤血液センター」の学術担当の先生をお呼びしたり、隣町の原町赤十字病院の感染看護師をお呼びして、ノロウイルスに対する現場対応の仕方を学び、各業者からも研修会の講師をお呼びし、勉強に日頃から励み、日常の診療に役立てながら過ごしております。

また、外部研修会としては、年1回のさくらライフグループ看護部によるグループ研究発表会を行い、研鑽に励んだり、前橋テルサや原町赤十字病院の公民館、全国の各種学会等、様々な地域で行われる勉強を学ぶ場へ参加しております。

当院は、このように勉強しながら着実に前進していております。まだ至らぬこともあるかも知れませんが、皆様からの暖かいご声援とご理解をお願いいたします。次回もお楽しみに。





輸血委員会について

副委員長 門脇 寛篤



輸血委員会とは、血液の管理を伴う委員会です。構成メンバーは医師、薬剤師、看護師、事務、管理栄養士ほか、主要メンバーが揃っています。

開催は月1回で、主に、使用実績の報告や輸血関連のトラブルや製剤特性などの情報を会議内で情報交換しております。

先日、輸血に対する感染対策委員会と共催で当院では日本赤十字血液センター学術担当の伊藤先生をお招きして、輸血の基礎的な部分を学ぶ研修会を実施いたしました。

輸血は当院の頻度はそんなにないため、手技的に忘れて「いざ」という際、輸血手技においてエラーが出ないためにも、基礎的な部分の復習は、非常に有意義でありました。このように、血液を扱う私達医療従事者の教育も委員会では行っています。

輸血と言えば、感染もさることながら、免疫に関する部分も気にしておかなくてはならない分野であります。当院では、残念ながら、緊急輸血に対応するだけの体制はありません。

しかし、それらも全て輸血マニュアルで管理されており、一番初めに行う「クロスマッチ法」という、患者様の血液と輸血製剤が免疫反応によって凝血反応を示さないかどうかを確認することや、輸血を実施中や実施後も患者様のお体に副反応や状態異常が起きていないかどうかをチェックする流れが構築されております。

輸血というのはヘモグロビンが低下すれば赤血球を補う目的で施行しますし、血小板が減少すれば、血小板を輸血することもあります。当院でもそういった各種輸血には対応しております。

輸血には副反応の出現する可能性は高く、安易に用いるべきではないと当院ではされています。そこを管理しているのが当委員会であり、輸血管理責任者は薬剤師が担っています。

病院だより



● 新病棟の開設

2階工事が完了となり、9月より2階に新病棟が開設します。入院のご相談等受付中です。

● 医療の問題・介護の問題があり在宅での生活

が困難な方や転院、人工透析療法、訪問診療を希望されている方など、ご相談は医療相談窓口にて対応させていただきます。

診療案内(9月)

診療科		月	火	水	木	金	土
内科 循環器科	午前	瓜田	於川	於川	於川	於川※1	於川
	午後						休診
外科 胃腸科 (整形・リハビリ科)	午前	関 (群大)	舘野 (群大)	休診	中澤 (群大)	笹口※2	(群大)
	午後						休診
認知症外来	午後	休診	休診	休診	休診	休診	休診

※1 第1金曜日(6日)AM9:45~17:00は非常勤内科医師の診療となります。

※2 第1・2金曜日(6日・13日)は、**外科休診**となります。

◆ かかりつけ患者様の急病時はいつでも対応します。

◆ 外科休診日でも軽度のケガ等はご相談ください。

◆ 9月休日当番医は、**15日(外科)**  
**・29日(内科/外科)**となります。

外来受付時間：午前 8時45分 から 12時00分まで / 午後13時00分 から 17時00分まで

休診日：土曜日午後、および日曜・祝日

※ 診療日変更となる場合もございますので、院内掲示板や受付窓口にて最新情報をご確認ください。

発行：吾妻さくら病院 広報委員会

吾妻郡中之条町伊勢町 782-1

TEL: 0279-75-3011

FAX: 0279-75-3299

URL: <http://www.a-sakurahosp.com/>

